

Choose Love Japan プログラム報告書 **choose love**
movement

Choose Love Movement :

JESSE LEWIS CHOOSE LOVE MOVEMENT, INC. (創設者：スカーレット・ルイス)の運営による、すべての子どもが教室で社会性と情動の学習(SEL)を受けられるようにし、『愛を選ぶ』ことにより SEL の認識と利益を高める取り組みを支援する活動全般を指しています。活動の対象は、学校のみならず、家族やコミュニティも含み、それによって、私たちの世界にプラスの影響を与えることを目指しています。 **感謝・勇気・赦し・愛**

上記、Jesse Lewis Choose Love Movement (JLCLM) が展開する心理教育「Choose Love For Schools™プログラム」は、心理教育のなかでも重視されているソーシャルエモショナルラーニング (SEL) と、キャラクターエデュケーション (CE) の両方のプログラムの条件を満たした心理教育ツールといえます。

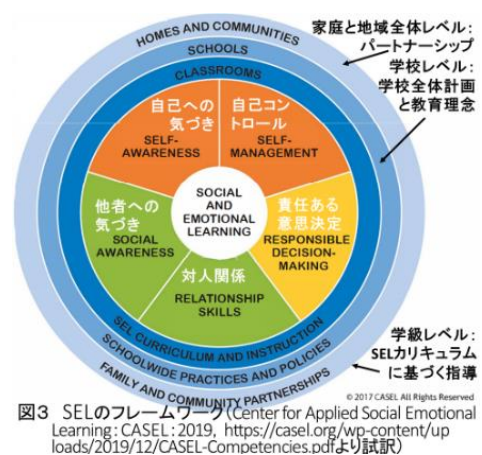
学習面との関連で、Choose Love For Schools™プログラムは、以下の基準に沿っています。

- キャラクター教育パートナーシップ(CSED)におけるモデル基準(K-12 Model Standards) <https://www.character.org/model-standards>
- アメリカスクールカウンセラー協会 (ASCA) の生徒の成功に向けたマインドセット及び行動 <https://www.schoolcounselor.org/>
- SEL 国際機関 (CASEL) <https://casel.org/core-competencies/>

Keyword :

心理教育 学校教育においては、主に普通学級に在籍する子どもから成る集団(主に学級集団)を対象とし、子どもの心理・社会的健康を増進に向け、心理学的知見、心理臨床実践を応用した教育実践活動 (安田, 2012)。

Social Emotional Learning (SEL) 子どもや大人が、感情の理解・管理、ポジティブな目標の達成、他人に共感を示したりポジティブな関係を構築・維持したり、責任ある決断を下すのに必要な知識・振る舞い・スキルを取得・有効活用するためのプロセス (CASEL, 2016) であり、心理教育として、①自己への気づき・②他者への気づき・③自己のコントロール・④対人関係・⑤責任ある意思決定の 5 つを学ぶこととされている (小泉, 2016)。



Character Education (品格教育, CE) 学校教育における品格教育は、米国で示された 11 項目の原理からなる (青木, 2014)。良い品格の基礎としてキャラクター・ディベロップメントには、次のものが含まれる。品格教育に関わるパートナーシップ (CEP) では、基盤としての 4 項目 (①道徳的な性格, ②物事を遂行する性格, ③知的な性格, ④一市民としての性格) と、社会性と情動の発達 の 5 項目 (⑤自己への気づき, ⑥セルフマネージメント, ⑦社会性意識, ⑧対人関係/人間関係のスキル, ⑨意思決定) を含む 11 項目を挙げている。



【主な引用文献】

- 安達知郎 (2012). 学校における心理教育実践研究の現状と課題—心理学と教育実践の交流としての心理教育— 心理臨床学研究, 30, 246-255.
- 青木多寿子 (2014). 品格教育とは何か: 心理学を中心とした理論と実践の紹介 発達心理学研究, 25, 432-442.

(文責: 西山久子)